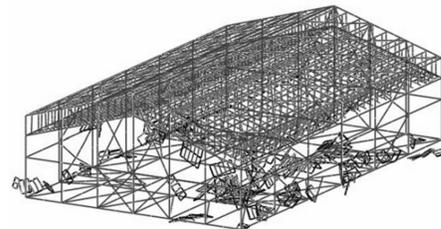
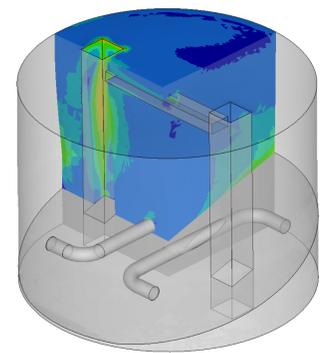
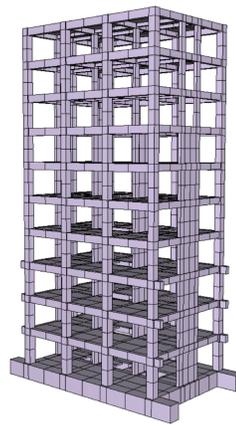


# 最先端の構造シミュレーション技術が拓く地震防災研究のこれから — 数値震動台プロジェクト成果発表会 —

## 開催概要

日時： 平成30年3月29日(木)  
講演会： 14:00 - 18:00 (参加無料, 開場 13:30)  
意見交換会： 18:00 - 20:00 (会費 3,000円)  
会場： 日本建築学会 建築会館ホール  
〒108-8414 東京都芝5丁目26-20  
主催： 国立研究開発法人 防災科学技術研究所  
後援(予定)： 一般社団法人 日本建築学会  
一般社団法人 日本計算工学会  
公益社団法人 土木学会  
公益社団法人 地盤工学会



## 開催趣旨

国立研究開発法人防災科学技術研究所（理事長：林春男）は、E-ディフェンス実験のデータを活用して、地震による建造物の損傷破壊過程、並びに、室内被害を再現するシミュレーション技術を開発（数値震動台研究開発プロジェクト）しています。数値震動台研究開発プロジェクトでは、シミュレーションの再現性能、予測性能向上のための高度化研究、並びに、シミュレーションの利活用研究を推進し、地震災害に対する予防力、対応力の向上に資する研究成果の創出を目指しています。この度は、「最先端の構造シミュレーション技術が拓く地震防災研究のこれから」と題し、建築、地盤建造物のシミュレーションの高度化やAI（人工知能）、VR（バーチャルリアリティ）を用いた利活用に向けた取り組みの成果を報告する成果発表会を開催します。

## プログラム

- 14:00 開催挨拶： 梶原 浩一（防災科学技術研究所 地震減災実験研究部門長）  
14:05 来賓挨拶： 竹内 英（文部科学省研究開発局 地震・防災研究課長）  
14:10 基調講演「地震防災のためのイノベーションプラットフォームの構築を目指して」：  
藤原 広行（防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門長）  
(休憩)  
15:00 数値震動台研究プロジェクトの概要： 大崎 純（数値震動台研究開発分科会委員長，京都大学）  
15:20 建築構造シミュレーションの高度化研究： 宮村 倫司（数値震動台建築WG主査，日本大学）  
15:50 建築構造シミュレーションの利活用研究 —AIを用いたヘルスマモニタリング—：  
小檜山 雅之（数値震動台建築WG委員，慶應義塾大学）  
(休憩)  
16:20 室内被害シミュレーションの高度化研究： 磯部 大吾郎（数値震動台設備WG主査，筑波大学）  
16:50 室内被害シミュレーションの利活用研究 —防災教育のためのVR可視化—：  
山下 拓三（防災科学技術研究所）  
17:10 地盤シミュレーションの高度化研究： Pal Mahendra Kumar（防災科学技術研究所）  
17:30 詳細有限要素モデルの簡易構築アプリケーションの開発： 藤原 淳（防災科学技術研究所）  
17:50 閉会挨拶： 堀 宗朗（数値震動台研究開発分科会副委員長，東京大学）  
18:00 意見交換会（会場： 建築会館ホール ホワイエ）

## 問い合わせ・参加申し込み

国立研究開発法人 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター 研究推進室  
Tel: 0794-85-8211 (代表), Fax: 0794-85-7994, E-Mail: e-def@bosai.go.jp  
<http://www.bosai.go.jp/hyogo/> (左記ウェブサイトよりの申し込みをお願いいたします)